

## 公共交通のこれからについて

1/2 無免許 C1250734 柏倉穰成

### A) 他チームの発表を聞いて

自分たちのチームにない解決策を提案し、参考になったチームは FOODS と C4、オムライスの3チームであった。FOODS と C4 は、自分たちと同じバスやタクシーなどの公共交通を題材にしていたためである。オムライスは、道路の整備や交通の活性化に関して、とても良いと感じたからである。FOODS はバスを使うことで仮想通貨を付与することで、町の商業・地域の活性化につながるという新しい視点でのバスの使い方だと感じ参考になった。チーム C4 に関しては、夜におけるバスの運行が行われていないと指摘していて、自分たちにはない考えであった。大学・病院・商業施設と連携した目的地直結型ダイヤのなどが参考になった。オムライスは、レインボーロードの案がとても良いと感じた。夜間での事故防止、労働環境の向上などが考えられていると感じた。

### B) 地方都市における交通の問題を総合的に解決するための自分の意見

自分たちのチームでは、バスやタクシー運転手の人手不足について考えた。問題の原因として、労働条件が厳しく若年層の就職希望者が減少している。2種免許が必要なため、大変なイメージがある。地方で利用者が減少して経営悪化が続いている。責任や、拘束時間と賃金が見合っていない。という4つの課題が出た。

チーム FOODS の発表から仮想通貨の付与を取り入れる。仮想通貨を付与することで乗客の増加や運転手の賃金の増加も見込める。チーム FOODS の意見に追加し、仮想通貨を運転手にも付与することを考える。バス・タクシー運転手には働いた分だけ仮想通貨を付与する仕組みを取り入れることで、賃金を増加し就職希望者の増加にも貢献できるのではないかと感じる。

チームオムライスの発表からレインボーロードを取り入れたいと考える。レインボーロードを取り入れることによって、夜間の事故防止、バス・タクシー運転手の労働環境の向上、レインボーロードを取り入れることで、道路だけでなく、街も活性化すると考えている。そのため、街の明かりが増え、夜間バスの運行も始まり、利用者が倍増すると考えられる。

チーム C4 の発表から、大学・病院・商業施設と連携した目的地直結型ダイヤを取り入れる。この取り組みを行うことで利用者を増やすことができると考えている。現状としては、若者が利用していないことが多くあげられるが、さまざまな施設と連結することで学生や、老人など幅広い年齢層が使用するバスになることができると考える。

これらの班の発表からさまざまな意見を取り入れることができた。チーム FOODS の発表からは利用者の減少、拘束時間と賃金が見合っていないという問題が解決できる。チームオムライスの発表から、労働条件の改善、利用者の倍増などが考えられる。チーム C4 の発表から利用者の増加、経営悪化の改善ができると考える。

自分たちのチームで検討したよりも、利用者の増加や、就職希望者の増加も予想される。特に、大学・病院・商業施設と連携した目的地直結型ダイヤに関しては、今からでも対応し、学生などの幅広い世代にとって有益であると考え。長期的には、レインボーロードも取り入れることで、街も賑わってくるのではないかと考える。しかし、まだバス運転手は大変であるというイメージがある。バス運転手やタクシー運転手の労働環境を改善、見直していく必要があると感じた。利用者を増やす取り組みだけでなく、労働者を増やす取り組みを考えていくことも重要であると感じた。